

第4回小児がん中央機関アドバイザリーボード
2019年2月8日（金）14：00～17：00

小児がん中央機関 相談支援事業報告

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
医療連携・患者支援センター
ソーシャルワーカー 鈴木 彩

小児がん中央機関 相談支援事業

- 小児がん及びAYA世代で発症するがんに関する相談支援の向上に関する体制整備を行う
 - 小児がん相談員専門研修
 - 小児がん拠点病院相談員継続研修
 - 小児がん相談員研修検討委員会
 - 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会
- 小児がん患者・経験者の発達段階に応じた長期的な支援のあり方について検討する

小児がん相談員研修について

今年度も小児がん相談員研修検討委員会を3回開催し、研修内容を検討した。

小児がん相談員研修検討委員メンバー

<委員>

- 小俣智子（武蔵野大学人間科学部社会福祉学科／小児がん経験者）
- 関由起子（埼玉大学教育学部学校保健学講座）
- 竹之内直子（神奈川県立こども医療センター 小児がん相談支援室）
- 田村里子（一般社団法人WITH医療福祉実践研究所）

<事務局>

- 高山智子（国立がん研究センター がん対策情報センター）
- 松本公一（国立成育医療研究センター）
- 柴田映子（国立成育医療研究センター）
- 鈴木彩（国立成育医療研究センター）

平成30年度 小児がん相談員研修検討委員会の開催

第1回	2018年6月28日	<ul style="list-style-type: none">平成30年度小児がん相談員専門研修について平成30年度小児がん拠点病院相談員継続研修について
第2回	2018年9月10日	<ul style="list-style-type: none">平成30年度小児がん相談員専門研修に関する感想・意見平成30年度小児がん拠点病院相談員継続研修プログラム内容について
第3回	2019年1月17日	<ul style="list-style-type: none">平成30年度小児がん拠点病院相談員継続研修に関する感想・意見2019年度小児がん相談員専門研修・小児がん拠点病院相談員継続研修について

平成30年度小児がん相談員専門研修

開催日：2018年9月1日（土）・2日（日）

場所：国立がん研究センター管理棟1F 特別会議室

定員：50名 受講者数：44名

受講者施設内訳：

小児がん拠点病院 13施設 17名

各ブロックの小児がんに関する協議会参画施設
23施設より27名

2018年9月1日（土）小児がん相談員専門研修プログラム

時間	プログラム	講師
9:30-9:50	受付	
9:50-10:00	オリエンテーション	
10:00-10:10	講義1 「小児がん対策」	厚生労働省 健康局がん・疾病対策課
10:10-10:20	講義2 「小児がん相談支援センターの役割」	鈴木 彩 国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター
10:20-11:20	講義3 「小児がん概論」	松本 公一 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
11:20-11:50	講義4 「血液腫瘍」	富澤 大輔 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
11:50-12:50	休憩	
12:50-13:20	講義5 「固形腫瘍」	寺島 慶太 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
13:20-13:50	講義6 「脳腫瘍」	寺島 慶太 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
13:50-14:20	講義7 「AYA世代のがん」	富澤 大輔 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
14:20-15:00	講義8 「晩期合併症と長期フォローアップ」	清谷 知賀子 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
15:00-15:10	休憩	
15:10-15:40	講義9 「小児緩和ケア」	余谷 暢之 国立成育医療研究センター 総合診療部 緩和ケア科
15:40-16:10	講義10 「小児がんの子どもの成長発達」	田中 恭子 国立成育医療研究センター こころの診療部
16:10-16:50	講義11 「小児がん患者・きょうだいへの支援」	伊藤 麻衣 国立成育医療研究センター チャイルドライフサービス室
16:50-17:00	事務連絡	

2018年9月2日（日）小児がん相談員専門研修プログラム

時間	プログラム	講師
9:00-9:30	講義12 「小児がん患者家族を支える社会資源」	佐藤 杏 国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター
9:30-10:00	講義13 「教育支援」	涌井 剛 埼玉県立けやき特別支援学校
10:00-11:00	講義14 「当事者の語り」	
11:00-11:30	講義15 「自立支援」	小俣 智子 武蔵野大学 人間科学部社会福祉科
11:30-12:30	昼休憩	
12:30-13:30	講義16 「相談支援概論」	田村 里子 WITH医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部
13:30-14:00	講義17 「相談支援センターに求められる機能」	鈴木 彩 国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター
14:00-15:00	講義18 「小児がんの相談支援の実際」	竹之内 直子 神奈川県立こども医療センター 小児がん相談支援室
15:00-15:10	休憩	
15:10-17:10	演習 事例検討	
17:10-17:30	事務連絡	

小児がん拠点病院 平成27年～平成30年

小児がん相談員専門研修 受講者数

ブロック	小児がん相談員専門研修受講人数	
	拠点病院	受講人数
北海道	北海道大学病院	5
東北	東北大学病院	7
関東甲信越	埼玉県立小児医療センター	8
	国立成育医療研究センター	8
	東京都立小児総合医療センター	9
	神奈川県立こども医療センター	9
中部	名古屋大学附属病院	8
	三重大学医学部附属病院	5
近畿	京都府立医科大学附属病院	1
	京都大学医学部附属病院	3
	大阪市立総合医療センター	9
	大阪府立母子保健総合医療センター	2
	兵庫こども病院	7
中国・四国	広島大学病院	7
九州・沖縄	九州大学病院	6
受講人数合計		94

平成30年度小児がん相談員専門研修アンケート結果

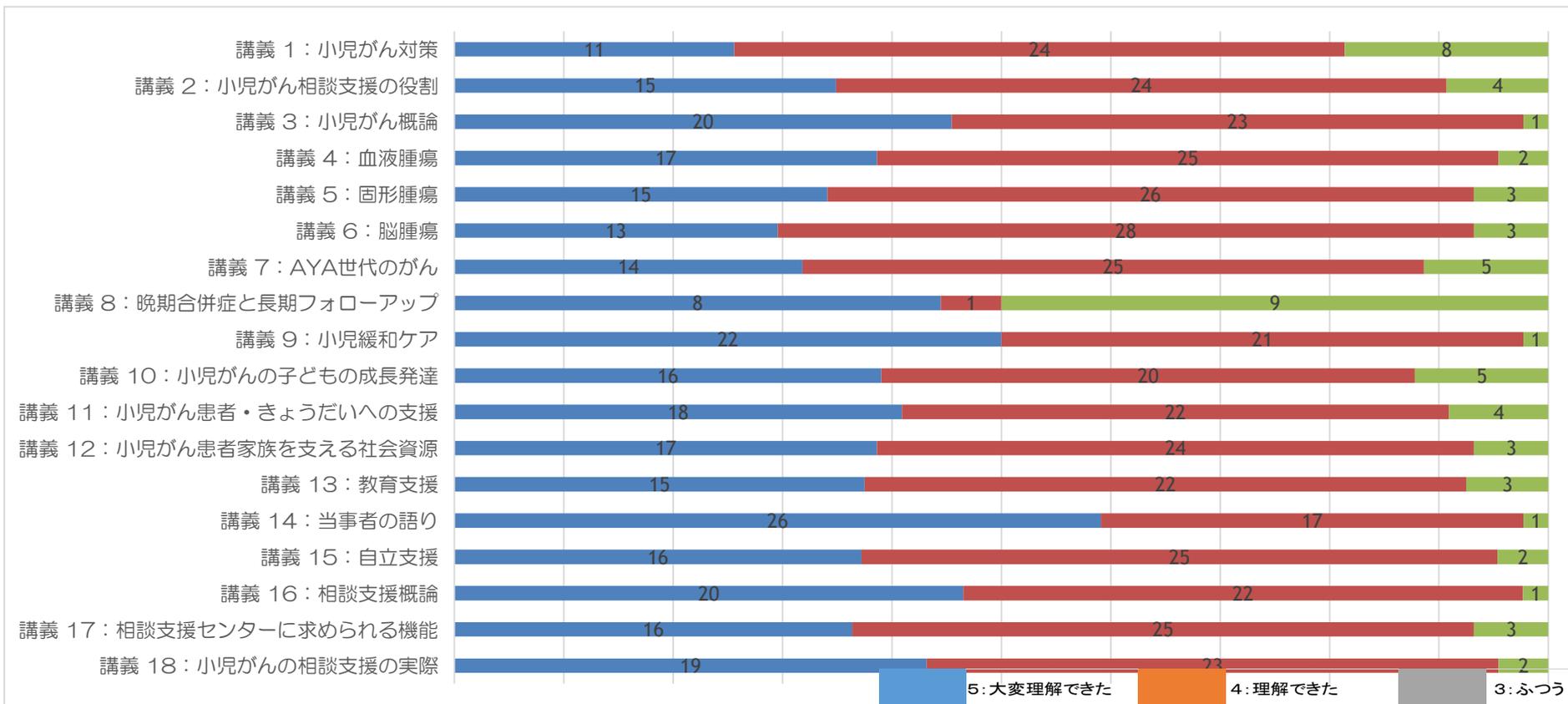
<回答者について>

【職種】看護師18名・ソーシャルワーカー20名・その他4名

【年代】20代 4名／30代 16名／40代 16名／50代 2名

【病院種別】小児がん拠点病院17名／小児がんブロック協議会参画施設27名

<講義の理解度>



平成30年度小児がん拠点病院相談員継続研修

開催日：2018年11月3日（土）

場所：品川インターシティ貸会議室

内容：

小児がん長期フォローアップにおける相談員の役割
－学校生活に対する支援－

受講者数：15拠点病院 31名

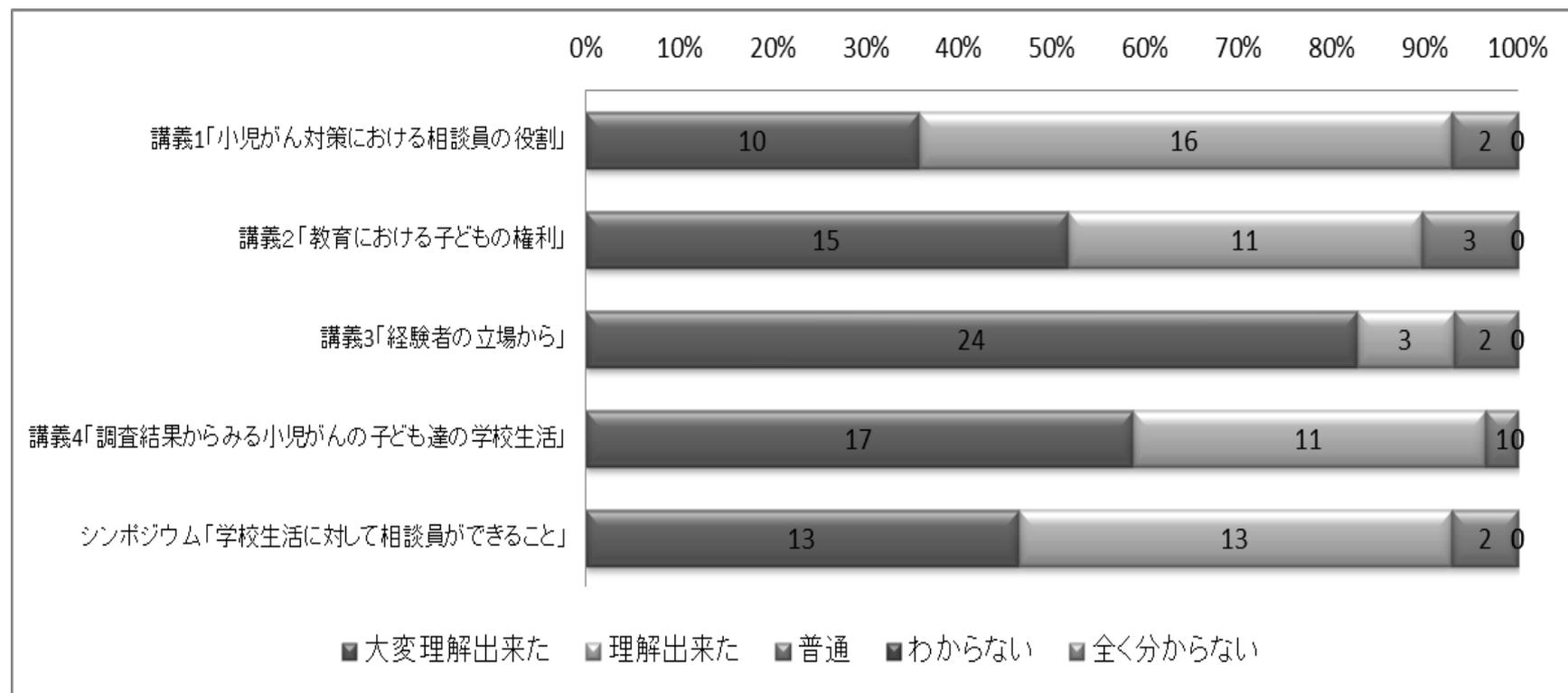
2018年11月3日（土）小児がん拠点病院相談員継続研修プログラム

時間	プログラム	講師 ・ 備考
10:00-10:10	オリエンテーション	
10:10-10:20	小児がん対策における相談員の役割	厚生労働省 健康局がん・疾病対策課
10:20-10:50	教育における子どもの権利	弁護士法人のぞみ法律事務所 増子孝徳
10:50-11:20	経験者の立場から	
11:20-11:40	調査結果からみる小児がんの子ども達の学校生活	武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 小俣 智子
11:40-12:00	グループでのディスカッション	
12:00-13:00	休憩	
13:00-14:00	シンポジウム 「学校生活に対して相談員ができること」	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県立けやき特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 竹村 由香理 養護教諭 川端 奏子 親の立場から 増子 孝徳
14:00-14:15	休憩	
14:15-14:45	シンポジストとの討議	
14:45-15:35	グループワーク	
15:35-15:50	休憩	
15:50-16:15	発表	
16:15-16:30	患児の学校生活を支援する相談員の役割	国立成育医療研究センター 小児がん相談支援センター 鈴木 彩

平成30年度小児がん拠点病院相談員継続研修アンケート結果

受講者数：31名 回答者数：29名

＜講義の理解度＞



小児がん拠点病院連絡協議会

小児がん中央機関

国立がん研究センター
国立成育医療研究センター

小児がん拠点病院
連絡協議会

- 連絡協議会 年2回
- 相談支援部会 年2回

北海道

東北

関東甲信越

中部

近畿

中四国

九州・沖縄

ブロック
協議会

各都道府県協議会

小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会 設置要領

(検討事項)

第2条

部会は、次の各号に掲げる事項について、情報を共有・検討する。

一 地域単位、施設単位で行われている情報提供・相談支援の取り組みの現状把握と分析、情報共有に関すること

二 相談支援体制機能の強化と向上を果たす上で必要となる全国、地域単位の体制の整備

三 小児がん患者家族の支援に関連した施策・制度面の改善等を整理し、協議会を通じて発信できるような提言に向けた素案の作成

第8回 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会

日時：2018年6月11日（月）13：30～16：30

場所：国立がん研究センター築地キャンパス

管理棟1階第2会議室

参加人数：16施設（14拠点＋2中央機関）32名

議事

1. 小児がん拠点病院の指定要件の見直しについて
2. 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会設置要領の改訂について
3. 小児がん相談支援体制整備ワーキンググループの設置について
4. がん相談記入シート・件数のカウントについて
5. AYA世代の相談支援について（グループワーク）
6. 各ブロックにおける相談支援部会の予定
7. 中央機関からの連絡
 - ・平成30年度小児がん相談員専門研修の開催について

2. 小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会設置要領の改訂について

設置要領への項目の追加案

(ワーキンググループ)

第5条 会長は、部会の円滑な運営を図るため、必要と認めるときは部会にワーキンググループを設け、グループ長及びグループ委員を指名することができる。

2 ワーキンググループは、グループ長及びグループ委員を指名することができる。

3 グループ長は、ワーキンググループを主宰する。

4 グループ長は、検討した結果を部会に報告し、了承を得る。

5 ワーキンググループ委員の任期については、選任の日が属する年度の末日までの期間とする。

6 ワーキンググループは、必要に応じグループ長が招集し、会議を行う。

3.小児がん相談支援体制整備 ワーキンググループの設置について

平成30年3月に第3期がん対策推進計画が閣議決定され、現在小児がん拠点病院の指定要件の見直しが行われているところであり、今後小児がん拠点病院にも新たにAYA世代への相談支援が加わるなど体制の見直しが求められる。

これらの課題について、小児がん拠点病院における相談支援体制を検討するためのワーキンググループを発足させる。

ワーキンググループ設置について

- ワーキンググループは小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会の部会参加者より、自薦・他薦により候補者を募る。
- 候補者の中から、職種・病院種別・地域ブロックのバランスを考慮し、4名程度を小児がん中央機関において最終決定する。
- ワーキンググループは年2～3回程度、東京都内にて開催する。
- メンバーは相談支援部会と同様に業務として参加してもらう。
- 旅費は小児がん中央機関より支出する。
- ワーキンググループの任期は1年とする。

第9回 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会

日時：2018年12月11日（金）13：30～16：30

場所：国立がん研究センター中央病院

参加人数：16施設（14拠点＋2中央機関）31名

議事次第

1. 小児がん拠点病院の新しい整備指針における相談支援センターの役割について
2. 小児がん相談支援体制整備ワーキンググループについて
3. 国立がん研究センターがん対策情報センターからの報告
 - （1）第11回都道府県がん診療連携病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会がん相談対応体制整備に関するアンケート結果
 - （2）がん妊孕性医療の動向とネットワークについて
 - （3）がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリストについて
 - （4）災害対応について
 - （5）「療養に関する情報の探し方」のお知らせ
 - （6）相談記入シートの変更について
 - （7）がん診療連携病院がん相談支援センターメーリングリストへの登録について

議事次第

4. 小児のがん相談記入シート・件数のカウントについて
5. 各ブロックにおける相談支援部会報告
6. ブロックにおける小児がん拠点病院の相談支援センターの役割について
7. 中央機関からの連絡
 - 平成31年度小児がん相談員専門研修の開催について
 - 国立がん研究センター主催の研修について
 - 厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
「思春期・若年成人（AYA）世代がん患者の包括的ケア
提供体制の構築に関する研究」について
（研究代表者：清水千佳子）

ワーキンググループ設置について

<前回の部会より>

平成30年3月に第3期がん対策推進計画が閣議決定され、現在小児がん拠点病院の指定要件の見直しが行われているところであり、今後小児がん拠点病院にも新たにAYA世代への相談支援が加わるなど体制の見直しが求められる。

これらの課題について、小児がん拠点病院における相談支援体制を検討するためのワーキンググループを発足させる。

ワーキンググループは小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会の部会参加者より、自薦・他薦により候補者を募った。

→候補者より5名を選定した

小児がん相談支援体制整備ワーキンググループ メンバー（敬称略）

	氏名	所属等
小児がん拠点病院	本間 陽子	北海道大学病院 5-1ナースステーション 小児がんチーム
	竹之内 直子	神奈川県立こども医療センター 小児がん相談支援室
	大濱 江美子	大阪市立総合医療センター 入退院センター
	柴田 映子	国立成育医療研究センター 看護部
	鈴木 彩	国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター
オブザーバー	高山 智子	国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供部
	松本 公一	国立成育医療研究センター 小児がんセンター

第1回小児がん相談支援体制整備ワーキンググループ

日時：平成30年9月18日（火）13:00～16:00

場所：国立がん研究センター築地キャンパス 診療棟2階 小会議室

I 開会挨拶

国立成育医療研究センター 小児がんセンター長 松本 公一

II 議事

1. 小児がん拠点病院の整備に関する指針について
2. 小児のがん相談記入シート・件数のカウントについて

来年度の予定

<2019年度小児がん相談員専門研修>

東京会場

日程：2019年8月31日（土）・9月1日（日）

場所：国立がん研究センター 築地キャンパス

大阪会場

日程：2019年9月21日（土）・9月22日（日）

場所：大阪市立総合医療センター さくらホール

<2019年度小児がん拠点病院相談員継続研修>

日程：2019年11月30日（土）

場所：未定

<第10回小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会>

日時：2019年5月23日（木）

※第12回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会と同日開催

場所：国立がん研究センター築地キャンパス

<第11回小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会>

日時：2019年12月ごろ

場所：国立がん研究センター築地キャンパス（予定）

来年度以降の検討事項

- 相談支援体制の整備について
 - 拠点病院がブロックを牽引する役割が取れるよう部会や研修を通じて体制を整備する。
- AYA世代の相談支援体制について
 - 成人がんの相談支援センターとの連携を強化できるように、小児がん拠点病院の相談員には積極的に都道府県の部会に参加してもらい、小児がん相談員の中でもその情報を共有して取り組みを検討していく。